

魅力発見!

おやべの

職場探訪

第23回

北陸森紙業株式会社

小矢部事業所

人・社会・未来を包む

パッケージメーカー

昭和26年創立の北日本段ボール工業株式会社が北陸森紙業株式会社の前身。かつて高岡駅南にあった工場は、平成5年に本市に移設され、現在約80名が小矢部事業所で勤務しています。森紙業グループは国内30工場、4支店、海外1工場、グループ全体で2,200名余りの従業員を抱える大企業。また、王子グループ企業の一社として、段ボール加工事業を担っており、その規模とシェアは国内最大級と言われています。

そんな北陸3県をエリアとする北陸森紙業で製造・加工されているのが、段ボールシートと段ボール箱(ケース)。皆さんも、飲料水や野菜、果物などを段ボール箱単位で買うことがあるかと思いますが。あの段ボール箱ですね。

突然ですが、皆さん、段ボールは何で出来ているかご存知ですか? 段ボールの原材料の、実に90%以上が使用済み段ボール。段ボールは「リサイクルの優等生」とも言われ、近年よく耳にするSDGsの考え方にも合致する素材として改めて注目されています。

北陸森紙業では、多くの企業からの注文・仕様に応じて、オーダーメイドで段ボールシートや段ボール箱などを製造しています。あらゆる商品の輸送や保管に欠かせない段ボール。商品のサイズにぴったり合ったものを作るのは基本で、さらに重いものか軽いもの



のか、あるいは硬いものか軟らかいものかなど、商品の特性に合わせて作っていると云います。また、小矢部事業所の敷地

面積は約6万㎡と広大ですが、1ヶ月あたり生産できる段ボールシートはその100倍にあたる約600万㎡と言いますから、その能力の高さには驚かされます。

北陸森紙業では、人・社会・未来を包むパッケージメーカーとして、地球環境にも配慮しながら、今日も皆さんの大切な商品をしっかりと守る段ボール製品を創意と工夫を凝らして作っています。

働く人に聞きました



石本 俊貴さん  
(平成29年入社)

ルフト営業として、主に既存のお客様から段ボールの仕様についてお話を伺い、ご注文をいただく業務に携わっています。特に、お客様のニーズに合わせた提案をし、それを私に任せてもらえた時は大きなやりがいを感じられる瞬間だと思っています。わが社には全体的に「良いものは取り入れていこう」という社風があり、勤続年数や年齢に関わらず意見やアイデアを気軽に発信でき、ときには部門の垣根を越えて連携することができる職場です。今後とも自社製品はもちろん、お客様の商品についてもしっかりと身につけ、お客様に喜んでいただけるような商品を提供していきたいと思っています。

うちの会社の強み

その1「安全・環境・コンプライアンス」を大前提とした、社会的企業責任への取り組み  
その2 伸び続けている業界需要と、北陸地域トップクラスの生産量

事業所データ

事業所名	北陸森紙業株式会社 小矢部事業所
設立	昭和26年
業種	製造業
住所	岡600
電話	68-3131

